

帯広市川西農業協同組合および、士幌町農業協同組合が JICA 理事長賞を受賞

～JICA 研修事業を通じた途上国の農業発展に貢献～

国際協力機構(JICA)では、毎年、国際協力事業を通じて開発途上国の人材育成や社会発展に多大な貢献をされた個人・団体に対し、その功績を讃え、表彰しています。

第 16 回を迎える今年度は、帯広市の士幌町の帯広市川西農業協同組合および、士幌町農業協同組合が JICA 理事長賞を受賞することが決定いたしました。

広く地域の皆様にも受賞の栄誉について認知いただけますよう、取材をよろしくお願い申し上げます。受賞団体への取材等も調整可能です。

受賞団体名	受賞理由
帯広市川西農業協同組合	<p>【30年以上にわたる、JICA の研修事業の視察や講義への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農協の役割や運営体制、営農指導、バリューチェーン構築、長芋の台湾輸出、カルビーの工場誘致の成功事例等など、幅広いテーマで知見・経験を研修員にご指導いただいています。農民の組織化が進んでいない各国の研修員にとって、研修で学んだ農協の知見と経験は、彼らの目指すべき将来像として刺激を与えモチベーションを高めることに繋がっています。 ・同農協が実施する資機材の共同購入・生産物の共同販売事業、組合員の営農・技術指導、ブランド化など、多くの研修員が各国の実情に合わせて実現に向けて取り組んでいます。 ・有塚組合長は当センターの「地域有識者懇談会」の委員として協力いただいております、また 2020 年には地域理解プログラム(開発大学院連携)の映像「十勝農業、リーダーの系譜～受け継がれる開拓精神～」において語り部としても出演いただきました。
士幌町農業協同組合	<p>【30年以上にわたる、JICA の研修事業の視察や講義への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーや普及員等の活躍により、貧しい農村地域を全国トップクラスの農業地帯に発展させた歴史や営農システムは、途上国の研修員にとって多くの学びをもたらしています。特に、農家の利益を重視し、加工工場の建設による原材料への付加価値化や、資金面で農家を支える農協金融による農家資金の共働運用システム等の取り組みは、刺激的な学びとなっています。 ・同組合の活動を飛躍させた組合長の太田寛一氏、また、その仕事

	<p>を支えた同僚や普及員の活動や精神を学ぶことを通じ、研修員はリーダーの役割やその在り方、農民のための農業支援、農民と信頼関係を築くことの大切さなど、各国で十分に実践されていない重要なノウハウを学んでいます。</p> <p>・2020年に完成した地域理解プログラム（開発大学院連携）の映像でも、十勝地域の農業発展を牽引した組織として協力いただいています。</p>
--	--

- * オンライン形式での表彰式を、10月15日(木)に開催します。
 - ・ご取材の参考として視聴をご希望の方には、後日録画映像の共有が可能です。ただし映像/写真を報道にご活用いただくことは難しい旨、予めご了承ください。
- * JICA 理事長賞の全対象者については、以下の JICA ウェブサイト上に10月8日(木)に公開されます。 (<https://www.jica.go.jp/>)

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 北海道センター（帯広） 道東業務課 安藤 TEL 0155-35-1210 e-mail : Ando.Takehiro@jica.go.jp